

存在した御料牧場。廃止後施設の移転で、盛岡に資料が残っており、資料が保管されている宮内庁を訪問しました。



宮内庁御料牧場を訪問した際の一コマ。

玉山地区の歴史の再発見に繋がる調査を今後も継続してまいります。

■仙北地区の地域課題取組

- ① 仙北町駅自由通路のエレベーター設置
平成25年度に9480万円が予算化されておりありますが、二度の入札不調で着工できない状況になっております。
入札方法の工夫をしながら早期の着工ができるように努めて参ります。
② 西仙北のヒマラヤスギの管理と伐採

地域住民から適正な管理を求められています。この点についても市長要望を行ったほか、地元意向をうかがっている所で、早期の実施を働きかけます。



議会活動を開始してお陰様をもちまして二期八年が経ちました。
まずは、これまで議会活動に御理解と御協力を頂きましたことに心より感謝申し上げます。
議会の活動は、予算・条例や重要な契約案件・人事について市政の団体意思を決定するとともに、執行機関の事務執行を確認・審査を行い、市の政策形成に向けた働きかけを行うことです。
これまでの議会活動では、一貫して財源を伴った政策提言と納税者納得の市政運営の立場から議会活動を行ってまいりました。
市政の喫緊の課題については、まず待機児童問題があげられます。
年度当初で53名の待機児童がおり、年末にかけて増える傾向が繰り返されております。待機児童の早期の解消について、国の子ども子育て支援制度を活用して、女性の社会参画と子育て環境の整備を図る必要があります。

もうひとつは、人口減少社会における街づくりの全体像を示していくことです。
岩手医大の矢巾地区への移転や、盛岡西回りバイパスに進出する郊外型店舗など広がる街に対し、人口の伸びはなく、今後の推計では30年で6万人口が減る予想です。
盛岡市の時価は最盛期二兆一千億円でしたが、直近では一兆一千億円と48%下落しております。市街地を拡大することで、逆に時価を下げた街づくりに対する方向転換と将来像の提示は急務です。
また、今後政策の浸透を図って行く施策は、「健康」「景観」「経済」であります。
一つ目の「健康」施策では、市民の健康、特に高齢者の健康に焦点を当てる必要があります。高齢化社会を懸念材料とするのではなく、介護や医療に頼らない「健康寿命の増進」で前向きに人口構成の変化に対応していく施策が必要であります。
この施策は、市の施策と地域活動の連携が不可欠な施策であり、市の総合力を挙げた政策推進が求められる分野です。

盛岡市議会 絆の会 鈴木一夫 議会だより

第9号

鈴木一夫事務所
盛岡市仙北2-23-24
電話019-635-8839
FAX019-635-9176



盛岡市議会議員
すずきかずお
鈴木一夫

1969年11月生。出生時本籍盛岡市東見前。二戸市私立福岡幼稚園、仙北小学校、仙北中学校、花巻北高校、法政大学文学部卒。学卒後、サラリーマンを経て衆議院議員前原誠司秘書。現在は、会社役員・社会福祉法人理事。

2007年盛岡市議会議員選挙に出馬し当選。2011年再選し現在2期目。現在会派「絆の会（4名）」に所属。教育福祉常任委員、危機管理・防災対策特別委員会、盛岡市矢巾町都市計画事業等組合議員。地域活動として、仙北地区社会教育福祉推進会監事、仙北地区体育協会会長、盛岡交通安全協会仙北分会顧問。仙北二丁目自治会副会長。盛岡舟っこ流し協賛会事務局長。

毎月の活動状況はホームページに掲載しております。

最新情報発信中!!

鈴木一夫 WEB SITE
最新情報発信中!!
是非ご覧下さい
www.suzukikazuo.com

身近な問題を真剣に!! (相談事はお気軽に)

(これまでの主な相談事項)
道路・下水道・河川改修、除雪、地盤改善、都市計画について、土地区画整理事業市街化調整区域での土地利用、生活福祉相談、観光振興、復興支援策、教育問題、市議会運営について、各種政策提言、地域開発計画など。
相談事はお気軽に電話
019-635-8839
もしくは、メール
aap09710@hkg.odn.ne.jp

「景観」行政、いわゆる街づくりですが、日本の政策で今後力を入れる分野は景観です。自然環境との調和はもちろんですが、岩手山や姫神山、岩山の眺望の確保や伝統的な建築物の維持保存等、城下町の情緒や調和、電線の地中化など郷土に誇りを持つことのできる街づくりについても積極的に提言を行ってまいります。

「経済」については、県庁所在地の行政・教育都市から、産業力の強化を進める必要があります。

盛岡の産業の88%は第3次産業であり、32%は公的需要です。

この10年で市の工業出荷額は半減しましたが、日本たばこ厨川工場の閉鎖等が要因ですが、産業力の強化、特に中小企業の振興から雇用の確保を図ることにについて総合力を挙げて取り組む必要があります。

議会改革については、議会基本条例の制定がされました。議会の活性化はもとより議会報告会について今後も不断の努力を積み重ねてまいりたいと思います。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

鈴木一夫議員の質疑とその後の取り組み経過

鈴木一夫議員の質疑について
(二) 質疑の項目を掲載
質疑の中心や回答については事務所まで、若しくはホームページに掲載されております。

2013年6月議会一般質問

(質疑) 盛岡玉山合併10年後以降削減される盛岡市の場合の交付税の現状と対応

(質疑) 住民参加型公募債(ミニ公募債)の発行を行い財源の確保ができないか

(質疑) 消防団の現状について

(質疑) 各小学校・中学校の広報誌を市内図書館に常備するなど情報提供を工夫できないか

(質疑) 市内小学生は体力面で全国平均を下回っている。どの分野で下回っているのか

(質疑) 向中野小学校の今後の児童数の推移と、受け入れる仙北中学校の校舎の増築について

2013年9月議会一般質問

(質疑) ILCの経済効果。公務員の需要の割合はどのようになっていくのか?

(質疑) 企業誘致の現状と雇用、東京事務所の企業誘致推進委員の活

動状況
(質疑) 国際都市盛岡の建設
(質疑) 冬季オリンピック招致について
(質疑) 自治体クラウドの実施・情報システムの市町村の共同利用
(質疑) 防災教育について

2013年12月議会一般質問

(質疑) 地域別の税収還元創設について

(質疑) 平成28年岩手国体開催に合わせた駅へのエレベーター導入

(質疑) 在宅介護と在宅医療の連携の状況

(質疑) 固定資産税で回収できるという発想で新駅設置を促進

(質疑) 本宮地区に高速バス停を設置
(質疑) 産業まつりと農業まつりを合体し、盛岡産業博覧会の開催

(質疑) 盛岡さんさを披露するだけではなく、特定の地域で根付くような施策

2014年3月議会一般質問

(質疑) 総合計画の策定と目標達成と県・広域八市町の上位計画との整合性
(質疑) 健康寿命の増進を掲げるべ

き。健康寿命が1歳延びた場合の財政的な影響
(質疑) ゴミ集積所の改善と有料化の判断
(質疑) ロードヒーティングと除雪の状況、地下道の入口のナンバリングの徹底、円形交差点(ラウンドアバウンド)導入、歩行者用信号機に待ち時間示す機能を設置
(質疑) 国際化対応と海外留学の現状

2014年6月議会一般質問

(質疑) 市有財産の最適化

(質疑) 公共施設等整備基金の計画的な積み増し

(質疑) 公営住宅の借上げ方式での整備

(質疑) 新市営球場の建設と県と合築をしてドーム球場にすること

(質疑) 鉈屋町の重要伝統的建造物群保存地区指定について

(質疑) 明治橋下流への「舟橋」の再建について

(質疑) 盛岡八幡平広域観光圏の運営と今後の課題

(質疑) 児童の自転車利用時のヘルメット着用について

(質疑) 空き教室の現状の多目的利用について

これまでまでの活動から

都市計画道路「津志田白沢線」の整備促進要望

地域住民の代表者の皆様と盛岡市建設部幹部に対する要請活動を実施。

これまで地域住民の勉強会を開催してまいりましたがこの7月には建設部長へ要望活動を行いました。



北上川河川敷の樹木の管理

北上川の樹木の管理について、神子田町内会など地域の皆様より適正な管理を要望されておりました。



住民の皆様と一緒に最終確認を国土交通省と行っているところ

法面と側溝の改善について

写真は手代森地区の市道の法面と側溝の改善。雨天による雨水の心配をお寄せ頂きましたので、側溝の整備を依頼し改善されました。



山田線の増発社会実験の開始

市議会では、一貫して山田線の利便性向上を訴えてまいりましたが、昨年9月30日から2年半、山田線の盛岡駅と上米内駅間9.9キロの区間の夕方の便を2往復増発がされることになりました。合わせて、上米内駅から桜台ニュータウン方面へのバスの増便や上米内駅の無料駐車場の整備も実施されました。

山田線社会実験のパンフレット

会派「絆の会」行政視察

私の所属する会派「絆の会」(4名)では、全国の先進事例を市政に反映するために全国の先進事例について情報収集や事業実施方法について学んでおります。玉山区外山に明治期から大正期にかけて